

「祖父母」でなくても！50歳以上ならだれでも！ 芦屋町祖父母学級

芦屋町祖父母学級は、大人向けの公民館講座です。「祖父母」となっていますが、おおむね50歳以上であれば、だれでも参加することができます。時間を有効に使い、学びながらみんなで楽しむ活動に参加してみませんか。

皆さんが参加しやすいように芦屋中央公民館、芦屋東公民館、山鹿公民館それぞれで活動しています。また、3館合同の講座も設けて学級生間の交流も図っています。

興味がわいた人は、各公民館に申し込んでください。

○活動内容

- ・ **社会見学**：町のマイクロバスを使用して町外の文化施設や歴史的な場所、食品工場などを訪ね、見聞を広げます。
- ・ **町の出前講座を活用した学習**：芦屋町の歴史や将来像を勉強したり、簡単にできる体操教室などで健康を考えたりしています。
- ・ **町内の園児・児童との交流**：行事への参加や学校の授業支援をととして、こどもたちと楽しく交流します。

○活動の様子

芦屋小学校区祖父母学級

芦屋釜の里・歴史の里特別展見学



出前講座（ニュースポーツ講座）



園児との交流



社会見学（田川市石炭・歴史資料館）



山鹿小学校区祖父母学級

社会見学（飯塚市・旧松喜醤油屋）



出前講座（芦屋かるたの学習）



小物づくり（貼り絵）



小物づくり（貼り絵）



芦屋東小学校区祖父母学級

社会見学（マリンワールド海の中道）



芦屋東小学校授業支援



合同講座

航空自衛隊芦屋基地見学



出前講座（芦屋港レジャー港化）



▷申し込み 中央公民館（☎222-1681） 山鹿公民館（☎223-1892） 芦屋東公民館（☎222-1981）

中学生の「税についての作文」表彰式

昨年12月2日、芦屋中学校で中学生の「税についての作文」入賞作品表彰式がありました。

これは、国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が全国の中学生を対象に税の正しい知識と理解を深めてもらうために、租税教育の一環として作文を募集したものです。

芦屋町では、芦屋町長賞を受賞した芦屋中学校3年生の金田陽向かねだひなたさんが表彰されました。



芦屋町長賞受賞作文を紹介します

税と医療費控除



私は将来薬剤師になりたいと考えています。そこで、私は税と医療の関係について調べました。調べた中で「医療費控除」というものがあることを知りました。医療費控除とは、納税者が自身や家族のために支払った医療費が一定額を超えた場合に、所得税の控除を受けることができる制度です。この控除を受けることで、課税所得が減少し、支払うべき所得税額が軽減されます。また、経済的負担が減少したり、より多くの人が必要な医療サービスを受けやすくなったり、医療サービスや治療の利用が促進され、健康の維持・改善に役立ったりします。

医療費控除の対象となる医療費は、薬代・治療費・介護費用・交通費・医療機器購入費用などが含まれることが分かりました。しかし、健康を目的としない美容整形や病気の予防や健康管理を目的とする健康診断、コロナウイルス・インフルエンザワクチンなどの予防接種は対象とならないことも分かりました。私は健康診断や予防接種も対象になるべきだと考えます。健康診断を行うことで病気を早期発見・早期治療し、健康を維持することができます。そうすることで税収の増加にもつながると思います。また、予防接種が対象

▽問い合わせ 課税係

(☎2233・3534)

芦屋中学校 3年 金田 陽向

となることで、接種率の向上や感染症の発生率の低下、医療費の削減などが見込めると考えます。その他にも、特定の健康問題を抱える人が必要とするサプリメントや血圧・血糖値・心拍数などを測定できたり、転倒時や強い衝撃を感じた場合にSOSを出すことができたりする特定の健康管理機器、健康維持や回復を目的としたリハビリテーションなども症状や年齢に応じて、控除対象になっても良いと思います。これらが控除に追加されることで、健康管理や予防の重要性がより広く認識され、個人の健康向上に貢献されることが期待されます。

費用負担の公平性を保つための仕組みの一つである医療費控除などの医療制度は税金で支えられています。税金をどのように使うかを決めるのは私たちではありません。しかし、私たちもその用途について考え、関心を持つことが大切だと感じました。

みんなが快適な生活を送るためには、税金についての理解を深め、適切に納めることが必要不可欠であると思いました。

税金は負担もある一方、社会全体の生活を支える大切なお金であると実感しました。

